【注意】発行当時の原稿をそのまま掲載しております。農薬について記載のある場合は、最新の農薬登録内容を確認し、それに基づいて農薬を使用して下さい。また、成果情報によっては、その後変更・廃止されたものがありますのでご注意下さい。

［成果情報名］飼料用トウモロコシ（サイレージ利用型）「P1341」の品種特性
［要　　約］「P1341」は、病害、倒伏・折損に強く、推定 TDN 収量が優れている。
［部　　署］山形県農業総合研究センター畜産研究所・草地環境部
［連 絡 先］TEL　0233-23-8817
［成 果 区 分］普
［キーワード］飼料用トウモロコシ、サイレージ利用型、WCS 用トウモロコシ、推定 TDN 収量

［背景・ねらい］

飼料作物の新品種、系統の中から、本県の気象条件下における栽培適応性のある推奨すべき有望な品種を選定するため、飼料用トウモロコシ（サイレージ利用型）「P1341」について、標準品種と3ヵ年継続して比較調査する。

［成果の内容・特徴］

飼料用トウモロコシ（サイレージ利用型）「P1341」の特性は、以下のとおりである。

1　5月中旬頃に播種すると8月下旬頃に黄熟期に達し、収穫適期となる（表１）。

2　標準品種と比べ、稈長がやや高い（表１）。

3　標準品種と比べ、耐病性及び倒伏・折損率は、同程度に強い（表２）。

4　標準品種と比べ、茎葉乾物収量は同程度であるが、雌穂の乾物収量及び推定 TDN 収量が高い（表３）。

［成果の活用面・留意点］

1　本情報は、農業総合研究センター畜産研究所(新庄市)において、県の飼料作物栽培指針に準じ以下の概要下で栽培したものである。
・堆肥量：牛ふん堆肥＝5 トン/10a
・基肥量：粒状苦土石灰 170kg/10a、ようりん 90kg/10a、
　　化成肥料（17-17-17）118kg/10a（N-P_2O_5-K_2O：各 20kg/10a）
・栽植密度=7,500 本/10a

2　商品名は「パイオニア 115 日」、相対熟度は 115 である。

［具体的なデータ］

表１　生育特性

年度	品種・系統	播種日	発芽日	初期生育	絹糸抽出期	黄熟期（播種からの日数）	稈長（cm）	着雌穂高（cm）
R5	P1341	5月12日	5月19日	7.3	7月22日	8月28日(108)	303	161
	P1690（標準）	5月12日	5月19日	7.0	7月20日	8月28日(107)	292	134
R6	P1341	5月16日	5月25日	4.7	7月21日	8月29日(105)	290	139
	KD641（標準）	5月16日	5月25日	6.0	7月22日	8月28日(104)	280	133
R7	P1341	5月14日	5月21日	5.7	7月20日	8月25日(107)	281	155
	KD641（標準）	5月14日	5月21日	7.0	7月20日	8月27日(105)	277	147
平均	P1341	5月14日	5月21日	5.9	7月21日	8月27日(105)	291	152
	P1690及びKD641(標準)	5月14日	5月21日	6.7	7月20日	8月27日(105)	283	138

※初期生育は極良を9、極不良を1とする。

※標準品種：R5はP1690（相対熟度115）、品種改廃によりR6,R7はKD641（相対熟度114）

表２　耐病性及び耐倒伏性

年度	品種・系統	病害			倒伏率（%）	折損率（%）
		すす紋病（1～9）	ごま葉枯病（1～9）	根腐れ病（%）		
R5	P1341	4.7	1.7	1.3	0.9	0.9
	P1690（標準）	6.7	1.3	1.3	0.0	0.4
R6	P1341	2.3	4.3	6.2	0.0	1.8
	KD641（標準）	2.3	4.0	6.2	0.0	2.2
R7	P1341	3.0	3.7	1.8	0.0	3.3
	KD641（標準）	2.0	3.0	1.8	0.0	2.5
平均	P1341	3.3	3.2	3.1	0.3	2.0
	P1690及びKD641(標準)	3.7	2.8	3.1	0.0	1.7

※病害のうち、すす紋病及びごま葉枯れ病は、1（無）～9（甚）の9段階による評価

※標準品種：R5はP1690（相対熟度115）、品種改廃によりR6,R7はKD641（相対熟度114）

表３　収量性

年度	品種・系統	生草収量（kg/10a）			乾物収量（kg/10a）			乾物率（%）			乾雌穂重割合（%）	推定TDN収量（kg/10a）
		茎葉	雌穂	総重	茎葉	雌穂	総重	茎葉	雌穂	総重		
R5	P1341	2,817	1,733	4,550	1,111	1,121	2,232	39.4	64.7	49.1	50.2	1,599
	P1690（標準）	2,790	1,535	4,325	1,133	1,008	2,141	40.6	65.6	49.5	47.1	1,516
R6	P1341	4,567	1,767	6,333	1,059	1,120	2,179	23.2	63.4	34.4	51.4	1,568
	KD641（標準）	5,000	1,500	6,500	1,109	966	2,075	22.2	64.4	31.9	46.5	1,466
R7	P1341	4,832	1,552	6,383	1,191	858	2,049	24.6	55.3	32.1	41.9	1,422
	KD641（標準）	5,320	1,147	6,467	1,172	664	1,837	22.0	57.9	28.4	36.2	1,247
平均	P1341	4,072	1,684	5,756	1,120	1,033	2,153	27.5	61.4	37.4	48.0	1,530
	P1690及びKD641(標準)	4,370	1,394	5,764	1,138	879	2,017	26.0	63.1	35.0	43.6	1,410

※標準品種：R5はP1690（相対熟度115）、品種改廃によりR6,R7はKD641（相対熟度114）

※推定TDN収量は新得方式（=0.582×茎葉乾物収量＋0.85×雌穂乾物収量）で算出

［その他］

研究課題名：飼料作物優良品種選定調査

予算区分　：県単

研究期間　：令和７年度（令和５～７年度）

研究担当者：菊地拓朗、阿部巖、伊藤修平

発表論文等：なし